

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

かごしまの環境共生住宅

グループの名称

かごしま家づくりの会

直近採択グループ番号

04-0104-0770

(グループ代表者)

代表者名

竹下 浩二

代表者印

代表者所属先

株式会社もみの木ハウスかごしま

代表者所在地

鹿児島県始良市加治木町反土1442-8

代表者電話番号

0995-62-1064

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社中澤

事務局担当者名

福山 浩二

印

事務局郵便番号

890-0033

事務局所在地

鹿児島県鹿児島市西別府町2995-5

事務局電話番号

099-282-4155

事務局FAX

099-282-4166

事務局担当者E-mail

kagoshima-ie@nkwgrp.com



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		55	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	55	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		25	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	25	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		10	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		10	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	1棟				
			100㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	施工構成員がグループ事務局に対し「補助金予約申込書」を提出し先着順で補助金の配分を行う。尚、同日に申込みがあった場合は、補助金利用実績の無い事業者に優先的に配分する。予約申込み物件は契約済物件とする。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	13戸	交付申請戸数	12戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	12戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	



















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かごしまの環境共生住宅	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) かごしま家づくりの会	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0104-0770	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	鹿児島県は、夏季の日射量が非常に大きな地域です。 強い日差しが照りつける夏季でも、日射遮蔽や通風を考慮した居住性の高い住宅を供給する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	鹿児島県には、現在も活発な噴火活動を行っている桜島があります。 桜島の降灰は、季節ごとの風向きにより、その影響を受ける地域が変化します。 この灰を容易に且つ速やかに除去できる工夫を行うことで、住まいの耐久性を高めます。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	強い日射しとなる夏季を考慮して、建物の開口部に直射日光の影響を受け難くするように、 軒や庇の出及び機能(Low-E)ガラスなどを用いて日射遮蔽を行う。	◎
④①～③の背景	鹿児島県は、温暖な気候に恵まれた地域です。 太陽や風が持つ、自然エネルギーや植物等の機能を充分に活用した家づくりを行うことで、エネルギー資源の消費を可能な限り より発生するCO2を制限する事で、地球環境の保全に努めた家づくりを行う。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域型住宅には、必ず、新築住宅瑕疵保険を付保することをルール化する事で、長期に亘り、住まわれる住宅 安心してお住まいいただける保証も併せてご提供する。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 寸法の規格化に関しては、構造的な規定を遵守し、お施主様のニーズに合わせた材寸を採用しております。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 多種多様にわたるお施主様のニーズが存在する為、地域材のみルール化しており使用建材の統一は行っておりません。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 開口部は日射遮蔽として、機能(Low-E)ガラスを使用する。 高効率給湯器の設置を標準とする。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: プレカット事業者による木材の計画仕入れを行うことで、木材の安定的な供給を図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木材の調達に関しては、プレカット事業者主体で行っていただくが、事務局とプレカット事業者が連携する事で、地域型住宅に必要な地域材の条件を満たす資材調達体制を行っている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が主体となり、木材商流・建材商流の合理化に向けた検討を行っている。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各種申請書の雛形を作成する事で、施工構成員の事務処理手続きの効率化を図れ、生産活動の合理化に繋げている。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険法人の定める「認定品質住宅」の施工基準に基づき、施工基準を策定しており、グループの信頼性向上に繋がる施工基準の取組みを行っている。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿命型や高度省エネ型住宅は、書面による技術審査で認定される為、瑕疵保険の現場検査と合わせて「追加防水検査」の併用を推奨し、施工精度の向上並びに地域型住宅の信頼性向上に努める。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通見積り表紙を使用する事で、顧客に対して地域型住宅を認識していただきグループとしての信頼性向上に努める。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工写真と進捗管理を併せて一元管理するWEBシステムを導入する事で、お施主様はインターネット経由で、進捗状況及び施工状況を確認する事が出来、信頼性の向上に繋がる。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かごしまの環境共生住宅	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) かごしま家づくりの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0104-0770	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報の蓄積を必須とする。経過年数告知サービスを活用し、保守・点検に活用する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報の蓄積は、瑕疵保険法人の(株)住宅あんしん保証「いえかて」を活用する。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局が瑕疵保険法人(株)住宅あんしん保証の取次店である為、履歴情報登録の申請を受け付けることで確認する。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「維持管理の考え方とガイドライン」に沿って点検を実施する。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修方法に関しては、状況を見極めメーカー推奨方法を用いて補修を行う事とする。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報へ登録する事で確認を行う。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「維持管理の考え方とガイドライン」についての勉強会を実施する。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一社全国住宅産業地域活性化協議会(上部団体)が運営する「じゅうmado」を用いた相談会の運用・実施を検討しております。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一社全国住宅産業地域活性化協議会(上部団体)が運営する「じゅうmado」を用いた相談会の運用・実施を検討しております。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理についてはガイドラインを採り入れており、現在は委員会等の設置は行っていないが今後の改定も含め、組織を構築する方向で検討を行いたい。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一社全国住宅産業地域活性化協議会より発行されている「維持管理の考え方とガイドライン」を活用してするめる。	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建設中は「住宅完成保証制度」を付保することで担保できる体制の整備を推奨し、引渡後の瑕疵に関しては、事務局が瑕疵保険取次店のため迅速な対応を行います。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 過去に発生した、瑕疵保険事故の実例集を施工構成員へ配布し、注意喚起を実施している。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー施工技術講習会を受講して頂くことで、断熱施工に対する基礎知識を習得頂き、グループ事務局が施工構成員様の要望に応じて随時研修・指導を行う。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険法人の定める「認定品質住宅」の施工基準に基づき施工基準を策定しており瑕疵保険法人の瑕疵保険検査を実施する事により品質管理を実施している。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険法人による「検査済証」の発行により、品質の確認を行う。	◎
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断熱性の高い(省エネルギー)住宅は、気密性も考慮した施工が求められます。断熱・気密の研修を行い、実際の現場で気密測定を実施し施工方法の習得を計画する。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 業種毎の施工方法を研修する事で、作業内容が明確化され作業の合理化が図れる。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 13 今年度の参加目標人数 5	◎
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 2		◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会の地域事務局と連携をとり、講習会の開催情報を構成員ならびに得意先等へ情報発信することで参加を促して参ります。		◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材メーカーの新商品発表会等を活用し、新商品や新工法の導入検討を行う。	◎
② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かごしまの環境共生住宅	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) かごしま家づくりの会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0104-0770	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】

a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	九州地域は、木材の主要産地が集中している為、安定供給が可能です。 地域型住宅の地域材は、九州地域が産地の木材とする。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者は事務局に対して、補助対象物件の着工予定を報告し、それに伴い、グループ事務局がプレカット事業者へ木材供給ルート在庫状況を確認していただき、報告を受ける。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材流通事業者より、地域材価格の価格変動の報告を受けた場合、グループ構成員へ変動状況を報告する。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工業者は事務局に対して、補助対象物件の着工予定を報告し、それに伴いグループ事務局が地域材の需要予測を行う。	◎
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 60枚	○
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10枚	○
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 6枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: シラス・(蒲生)和紙などの素材提案を行う。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 軒・庇を設ける事で、夏季は日射を遮り、クールスポットを作れる。その温度差を活用し建物内に風を取り入れる間取りの提案を行う。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 良質な住宅を供給し、適切な維持管理を行う事で、次世代に住まいを継承する事ができ、長年に渡り同じ土地に住む事により、地域との繋がりを深められる。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 接道側に中間領域を設け植栽を植える事により、道行く人にも心地よい印象を与える事が出来ます。街並みは地域の共有財産にもなる為、積極的な提案を行う。	○
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: シラス・(蒲生)和紙などの素材提案を行う。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

カ. その他

【平成29年度対応方針】

東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組	国土交通省が整備を行っている「被災住宅の補修のための相談制度」に、グループ構成員の協力をいただいております。環 疵保険協会からの要請に伴い、グループ事務局が情報配信を行い、下記の対応を実施しております。 【現場相談】現場での災害住宅の補修・再建の相談に応じる専門家の派遣。 【事務所相談】地域で設定されている相談窓口での対応。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かごしまの環境共生住宅	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) かごしま家づくりの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0104-0770	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

■鹿児島県では、策定している『かごしま環境共生住宅』の基本コンセプトを『鹿児島県ならではの風土・人・環境に配慮した住まい・まち』と定め、この目的を実現する為に、

下記の4つの方針と15のテーマが設定されております。かごしま家づくりの会では、『かごしま環境共生基本コンセプト』を基にし、地域特性を考慮した木造住宅・建築物の供給を行って参ります。

I. 省エネルギー

- ①強い日差を和らげ、涼しく暮らす。
- ②豊かな太陽エネルギーを活用して暮らす。
- ③地域の風を活かして快適に暮らす。
- ④効率的にエネルギーを利用して暮らす。

II. 資源の有効利用

- ⑤水や資源を大切にしながら暮らす。
- ⑥長く暮らせる住宅をつくる。
- ⑦住宅づくりに資源を有効に利用する。

III. 地域適合・環境親和

- ⑧台風・塩害・シロアリ・ハブに備える。
- ⑨降灰に備える。
- ⑩まちに快適な環境をもたらす。
- ⑪景観・地域文化を守り育む。
- ⑫地域材を活用する。

IV. 健康快適・安全安心

- ⑬室内環境を健康的に保つ。
- ⑭いろいろな世代の暮らしを支える。
- ⑮住まいと生活環境を適切に守り、育む。

■ゼロ・エネルギー住宅

BELS認証による評価を必須とする。

外皮平均熱貫流率(UA)、エネルギー削減率(R)、(R0)は下記の値とする。

- 【6地区】外皮平均熱貫流率(UA)0.6以下 一次消費エネルギー削減率(R)101% (R0)21% 以上
- 【7地区】外皮平均熱貫流率(UA)0.6以下 一次消費エネルギー削減率(R)102% (R0)23% 以上

■優良建築物に関して以下の地域ルールを除外する。

- ①住宅瑕疵保険は、「住宅」を含む物件に対して付保する事ができる保険です。優良建築物に関しては、瑕疵保険の付保の義務を除外する。
- ②優良建築物は、個別に設計を行った開口部の性能を採用することとし、開口部の日射遮蔽に機能(Low-E)ガラスを使用するという条件は除外する。